



いばら



公共交通かわら版

民間路線バス

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
10.0人以上 かつ
収支率 80%以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
2.0人未満 かつ
収支率 20%未満

→ 検証期間中に利用者数が改善したので今回の見直しでは縮小（減便等）の対象外とします。

2 検証期間中の実績と検証結果

事業者	路線名	1便あたりの利用者数 (人/便)	
		H28年度	検証期間中
北振バス	井原～美星支所・黒萩・宇戸谷線	1.6	3.1

※収支率は、前年10月～当年9月の12カ月間で集計されるため、検証期間中の実績は不明

井原あいあいバス

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
10.0人以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
3.0人未満

※芳井・美星地区での運行はスクールバスの間合い運用であり、ダイヤに制約があるため、弾力的に対応する。

- 子守唄の里線と天神峡線は、継続的な利用が見られるため今回の見直しでは縮小（減便等）の対象外とし、引き続き経過を観察します。
- 美星地区では、利用者数が減少傾向にあるため、地域の皆さんの意見を踏まえて、見直し内容を検討していきます。

2 検証期間中の実績と検証結果

地区名	路線名	1便あたりの利用者数 (人/便)	
		H28年度	検証期間中
井原	子守唄の里線	2.6	2.4
芳井	天神峡線	2.5	2.0
美星	黒木・星田線	0.6	0.2
	黒萩・八日市線	0.5	0.4
	鬼ヶ嶽線	0.3	0.3

予約型乗合タクシー

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
4.1人以上 かつ
年間運行回数
200回以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
1.1人未満 かつ
年間運行回数
100回未満

→ 予約型乗合タクシーについては原則として、縮小（減便等）の対象外としますが、運行エリアでのアンケート調査結果等を基に運行日や運行時刻の改善を図っていきます。

2 検証期間中の実績と検証結果

地区名	運行区域名	年間運行回数 (回/年)		1便あたりの利用者数 (人/便)	
		H28年度	検証期間中	H28年度	検証期間中
井原	荏原・西江原	運行なし	運行なし	-	-
芳井	天神山・上野・西吉井	20	27 (年換算)	1.0	1.1
	高原・高瀬	26	19 (年換算)	1.0	1.0
	峠村・野畑	運行なし	運行なし	-	-
	共和下・川相	運行なし	運行なし	-	-

● 「縮小」の基準に該当する路線の検証結果について ●

平成28年度の運行実績（集計対象期間：平成27年10月1日～平成28年9月30日）において「縮小」の基準に該当した民間路線バス：井原あいあいバス・予約型乗合タクシーの検証結果をお知らせします。
（検証期間：平成29年2月～平成29年9月の8ヶ月間）

バス等の利用状況と運行を維持するための市の財政負担について

井原市では、公共交通を維持するために財政負担を行っています。今号では、バス等の利用状況や運行維持に対する市の財政負担についてご紹介します。

利用者数の減少と財政負担額の増加

井原市内のバス等の利用者数は減少が続いており、平成28年度の利用者数は、平成21年度から三〇万人以上減少しています。

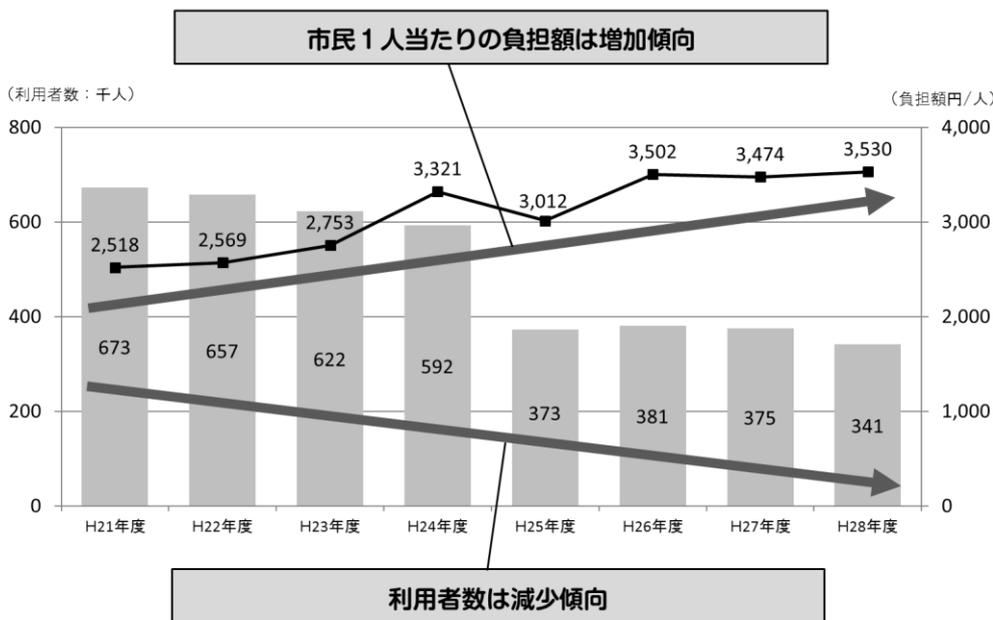
一方で、運行を維持するための市の財政負担額は平成28年度では、年間約一億四九〇〇万円となり、市民一人あたりの負担額も利用者数の減少と共に増加傾向にあります。こうした状況を踏まえ、井原市では、平成28年3月に「井原市地域公共交通網形成計画」を策定し、運行見直し基準に基づいた路線・ダイヤの見直しや、利用促進等に取り組んでいます。

公共交通は、車を運転できない学生や高齢者にとって欠かすことのできない移動手段です。これからも、より利用しやすい交通体系を目指し様々な事業に取り組んでまいります。

ぜひ、皆さんも
公共交通を利用して
みませんか。



バス等の利用者数と運行維持に対する負担額



公共交通は地域にとって重要な交通手段です。この機会に自分のこととして考えてみましょう。

みんなで守ろう
公共交通！



おしらせ

美星地区で意見交換会を開催しました

平成29年11月16日に美星地区の自治公民館長を対象とした、公共交通に関する意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会では地域の代表の方に公共交通の現状を知ってもらうことを目的として実施しましたが、今後は実際にはバスを利用する方の意見を聞きながら、地域の皆さんと共に公共交通のあり方について検討していきます。